

■平成30年度 意見交換会（7/6）における委員の主な意見

参考資料

番号	分類	意見
1	バリアフリー基本構想	地域における取組みの強化としてマスタープラン制度の策定があるが、それを軸にして大阪府から基本構想の充実を図ることについてもっと強い方針が出せないか。 市町村では、基本構想がなかなか進んでいない。マスタープランが制度化されるので、それを軸にしてどのように進めていくかというのが大きな課題であり、大阪府はどのように対応するのか。
2	エレベーターのかごの大きさ	エレベーターのかごの大きさは、今は11人乗りだが、これを最低でも17人若しくは15人乗りにするなどもう少し大きくしてほしい。
3	無人駅	災害が起こったときに駅員がいないことから、無人駅の情報について充実していただきたい。
4		無人駅、時間帯無人駅の情報について、窓口に行けば書いているところもあり、それを活用してはどうか。
5	子育て支援	社会全体としての子育て支援という項目を論点の中にもっと入れるべきではないか。ベビーカーでの外出あるいは子どもを連れての外出等をしっかり明記すべき。
6	情報提供（全体）	はじめて行くところではエレベーターやトイレがわかりにくいということもあることから、現地の表示を分かりやすくしてほしい。
7	情報提供（災害時等）	事前に情報を得られることも必要だが、日常的に事故等で遅延等が起こった場合や災害が起こった場合に電子版で字幕を流したり音声だけの駅もある。 様々な障がい者にそれらの情報が提供されることが急務。
8	情報提供（視覚障がい者）	府のホームページのまちのバリアフリー情報の提供は、音声対応できているのか。
9	情報提供（視覚障がい者）	音声ソフトはあるが、使ってみないと実際わかりやすいのかがわからない。
10	情報提供（視覚障がい者）	視覚障がい者の対応ができていない。知らない駅では、出口もトイレの位置もわからない。一日でも早くこの状態を克服しなければならない。
11	情報提供（知的障がい者）	最近、デジタルサイネージや電子広告が増えている。 知的障がい者にとって電子広告等はとても有効。
12	利用者マナーの向上	バリアフリー状況が整ったとしても利用者マナーが悪い。歩きスマホ、エスカレーターでの歩行乗車、キャリーバッグで人の足を引いてしまう、あるいは支援が必要な人に対する配慮が足りていない。さらにはヘルプマーク、マタニティマークをつけている人への嫌がらせ等がある。利用者マナーの向上を促すような記述ができないかと思う。

■平成30年度 勉強会（5/22）における委員の主な意見

番号	分類	意見
1	無人駅	駅員がいないと不便を被っている障がい者がいるので、無人及び時間帯によって無人となる駅の情報を防犯上の理由で公開できないということであれば「駅によっては無人のところもあるのでお問合せください」等を掲載したらどうか。それとも個別に問合せがあっても防犯上の理由で一切教えることができないのか。
2		実際に情報なり、移動の保障とか無人駅であればこそ、もっともっと更に必要なことがあると思う。改めて事業者さんに理解、協力をいただくために、事務局から伝えていただきたい。
3	情報提供	・ホームドアの設置の有無 ・プラットホームと鉄道車両と床面の段差、隙間の解消の有無又はホームと車両の段差と隙間の解消の有無 について、情報提供してほしい。
4	ひらがな表記	駅名にはひらがな表記をしているが、事業者名及び電鉄名にひらがな表記をしていないので、他の地域から利用される方が分かりにくい。路線図から選ぶほうがいいという方もいる。
5	視覚情報	音声情報だけでなく、視覚情報も必要。例えば乗換ルートを紙にわかりやすく書いたものを駅に置くなどしてほしい。ルートがわからないときにその紙を貰えば紙を見ながら行くことができる。
6	鉄道駅の乗換え	難波の乗換えについて、高島屋を経由して南海から地下道におりるルートに関して掲載する場合は、高島屋の営業時間や休館日の場合のルートも掲載していただきたい。
7		南海電車の難波駅と大阪メトロのなんば駅の車いすの乗換えが大変である。
8	ホテル	高校までの修学旅行生では、障がい者の方も含めホテルより旅館を利用されている。先生と生徒とで複数人泊まることのできることで、旅館を利用されることが多い状況。
9		2020年までに大阪府内で18,000室のホテルが新設されると聞いている。 観光庁がバリアフリーに関するホテル旅館への改修支援をしている。 客室内の躯体や設備をいらわない必要最低限の緊急改修は定額で上限100万円。 共用部の改修や、客室の統合等を伴う大規模改修に関しては1/2 補助、補助上限500 万円。
10	法改正	法改正のポイントが4つある。 1 基本構想に加え、目的、目標、戦略等を強化するバリアフリーマスタープラン 2 PDCA化 3 当事者参加の参画 4 都道府県と市の役割